



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所 東  
 コード番号 3405 URL <https://www.kuraray.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 滝沢 慎一 (TEL) 03-6701-1070  
 I R・広報部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	184,965	10.4	21,324	△3.7	20,389	△8.5	8,152	△35.8
2022年12月期第1四半期	167,558	—	22,145	—	22,295	—	12,701	—

(注) 包括利益 2023年12月期 16,094百万円(△59.7%) 2022年12月期 39,957百万円(—%)  
 第1四半期 第1四半期

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	24.36	24.34
2022年12月期第1四半期	37.11	37.08

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。このため、当該会計基準等を適用する前の2021年12月期第1四半期連結累計期間に係る各数値に対する対前年同四半期増減率は記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,217,079	676,416	53.8
2022年12月期	1,221,533	668,534	52.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 654,642百万円 2022年12月期 646,750百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	21.00	—	23.00	44.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	380,000	6.1	36,000	△5.5	33,000	△12.9	17,000	△29.8	50.79
通期	810,000	7.1	84,000	△3.6	79,000	△6.0	47,000	△13.5	140.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年12月期 1 Q	354,863,603株	2022年12月期	354,863,603株
2023年12月期 1 Q	20,171,629株	2022年12月期	20,171,061株
2023年12月期 1 Q	334,692,204株	2022年12月期 1 Q	342,261,353株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 5 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年3月31日)における世界経済は、中国がゼロコロナ政策の転換により経済の正常化を進めるなど一部で改善の動きもみられたものの、インフレ抑制のための各国の金融引き締め継続やロシア・ウクライナ情勢の影響などにより景気の減速感が強まり、先行き不透明な状況が続きました。

かかる環境下、当社グループの業績においては、売上高は前年同期比17,407百万円(10.4%)増の184,965百万円、営業利益は820百万円(3.7%)減の21,324百万円、経常利益は1,905百万円(8.5%)減の20,389百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,548百万円(35.8%)減の8,152百万円となりました。

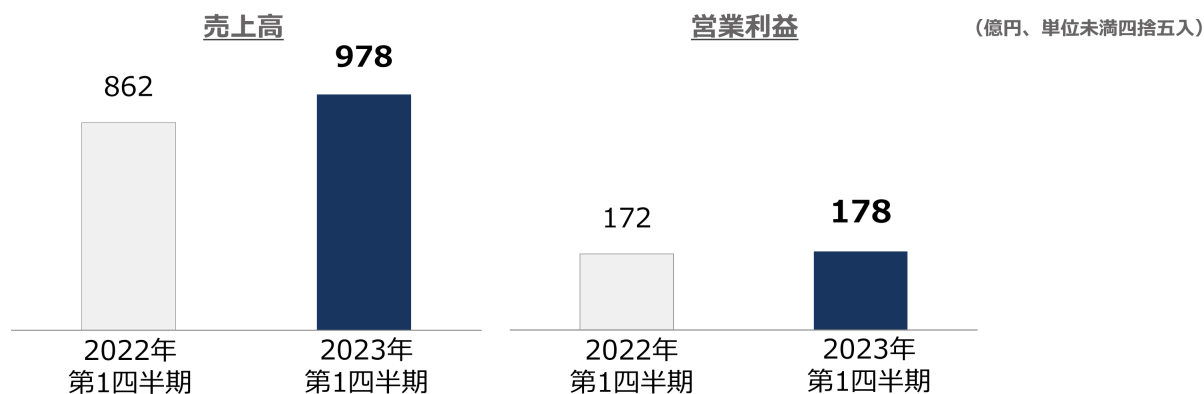
2018年5月に米国子会社で発生した火災事故に関して提起された民事訴訟について、近く訴え却下の申立てが認められる見込みの1名を除き、係争中であったすべての原告との間で2023年4月に和解が成立し、本件訴訟は実質的に解決しました。これに伴い、当第1四半期連結累計期間において、本件訴訟に関する訴訟関連損失として7,151百万円を特別損失に計上しています。

(単位:百万円)

	2022年度 第1四半期 連結累計期間		2023年度 第1四半期 連結累計期間		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニリアセテート	86,154	17,243	97,815	17,820	11,661	577
イソプレン	15,358	2,672	15,780	190	422	△2,481
機能材料	38,026	2,201	45,378	3,495	7,351	1,293
繊維	14,425	1,627	13,533	248	△892	△1,379
トレーディング	13,953	1,316	13,810	1,142	△142	△173
その他	10,681	381	11,347	63	666	△318
消去又は全社	△11,041	△3,297	△12,700	△1,635	△1,658	1,661
合計	167,558	22,145	184,965	21,324	17,407	△820

## [ビニリアセテート]

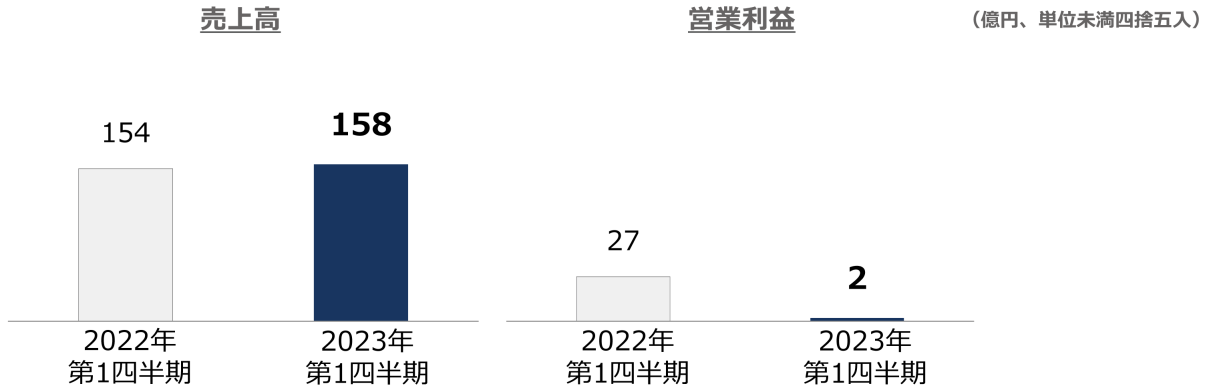
当セグメントの売上高は97,815百万円(前年同期比13.5%増)、営業利益は17,820百万円(同3.3%増)となりました。



- ① ポバール樹脂は、世界的な需要減退により販売量は減少しましたが、高付加価値品へのシフトを一層進めました。光学用ポバールフィルムは、昨年後半から続く液晶パネルの在庫調整の影響を受け、出荷が減少しました。高機能中間膜は、PVBフィルムが北米やアジアなどで堅調に推移しました。水溶性ポバールフィルムは、インフレによる買い控えなどの影響により、主に欧州で個包装洗剤向けの出荷が減少しました。
- ② EVOH樹脂(エパール)は、食品包装用途が堅調に推移しました。

## [イソプレン]

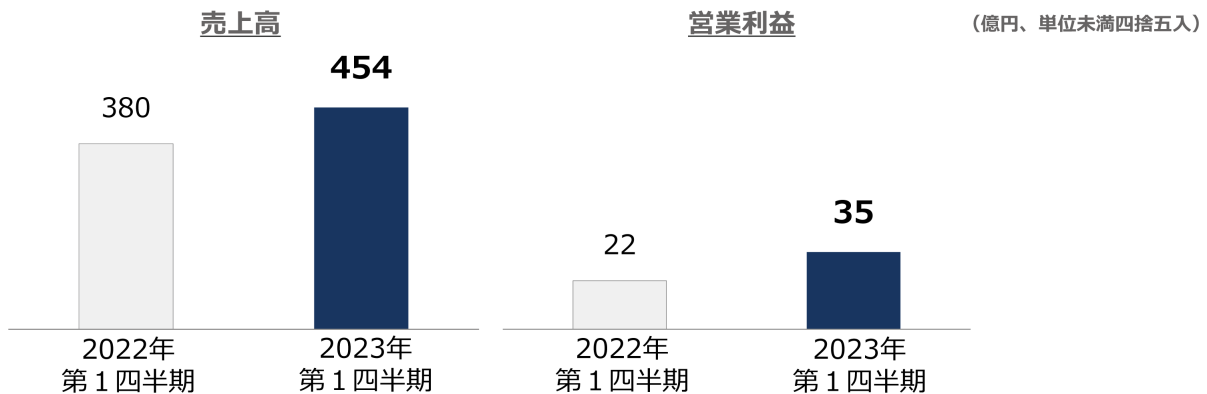
当セグメントの売上高は15,780百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は190百万円（同92.9%減）となりました。



- ① イソプレンケミカル、エラストマーは、昨年後半から続く需要減退の影響により、販売量が減少しました。
- ② 耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉は、自動車向けは回復の兆しが見られたものの、電気・電子デバイスの在庫調整の影響を受け販売量が減少しました。

## [機能材料]

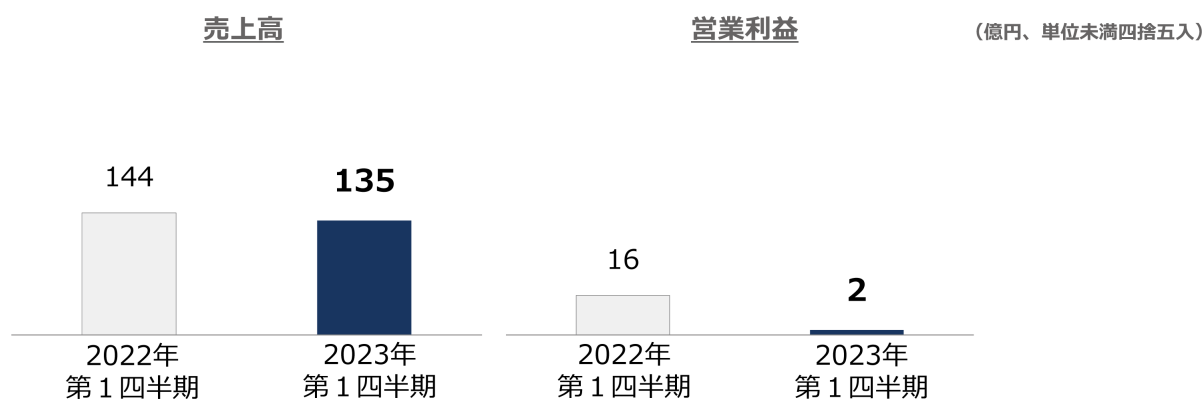
当セグメントの売上高は45,378百万円（前年同期比19.3%増）、営業利益は3,495百万円（同58.8%増）となりました。



- ① メタアクリルは、電気・電子デバイスの在庫調整などの影響を受け、販売量が減少しました。
- ② メディカルは、欧州を中心に審美治療用歯科材料の販売が順調に推移しました。
- ③ 環境ソリューションは、飲料水用途の需要が増え、活性炭の販売は堅調に推移しました。

## [繊維]

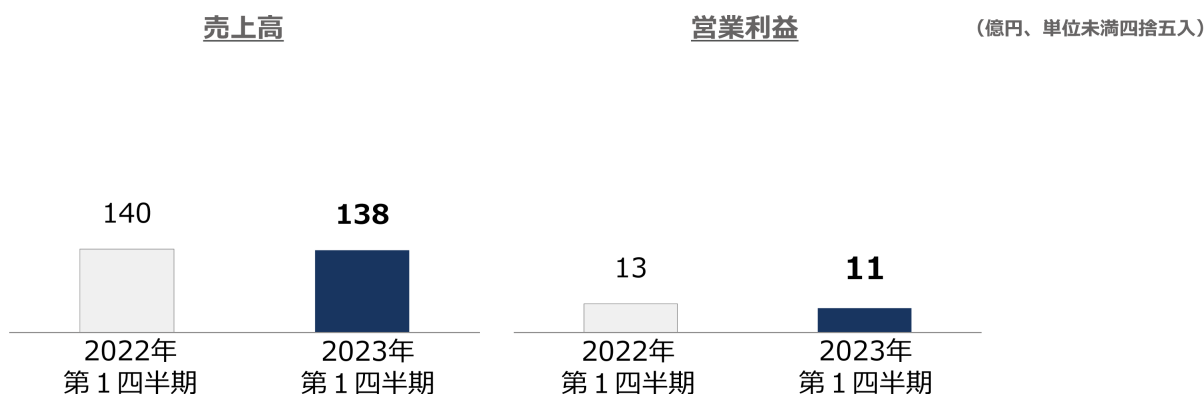
当セグメントの売上高は13,533百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は248百万円（同84.7%減）となりました。



- ① 人工皮革〈クラリーノ〉は、スポーツ用途などで需要減退の影響を受け、出荷が減少しました。
- ② 繊維資材は、〈ベクトラン〉が堅調に推移したものの、ビニロンは自動車生産回復の遅れや景気減速の影響を受けました。
- ③ 生活資材は、〈クラフレックス〉で外食産業の需要が低調でした。

## [トレーディング]

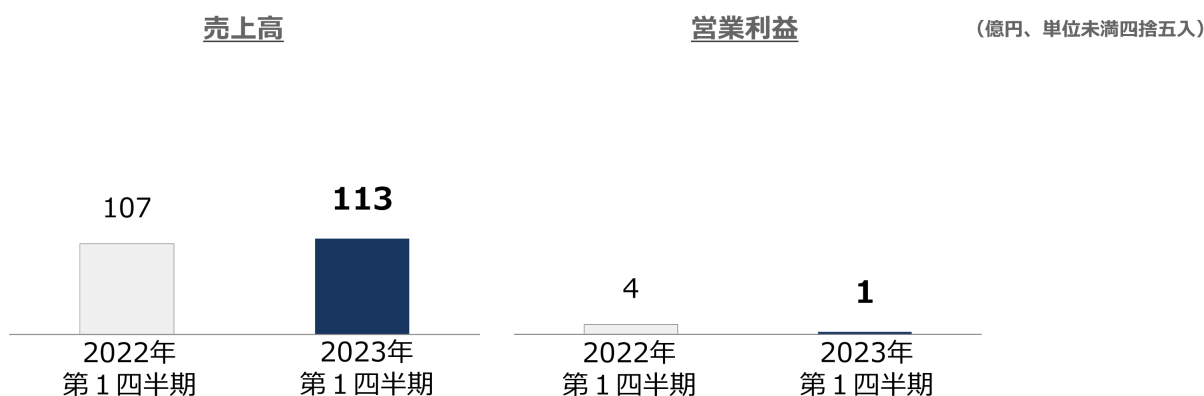
当セグメントの売上高は13,810百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は1,142百万円（同13.2%減）となりました。



- ① 繊維関連事業は、ウェアラブルギア等のスポーツ衣料を中心に販売が拡大しました。
- ② 樹脂・化成品関連事業は、景気減速の影響を受けました。

## [その他]

その他事業の売上高は11,347百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は63百万円（同83.4%減）となりました。



## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、機械装置及び運搬具（純額）の増加44,797百万円、建物及び構築物（純額）の増加11,851百万円及び棚卸資産の増加11,417百万円等の一方、建設仮勘定の減少55,951百万円及び現金及び預金の減少15,055百万円等により前連結会計年度末比4,453百万円減の1,217,079百万円となりました。負債は、主として未払金の増加に伴うその他流動負債の増加8,536百万円等の一方、長期借入金の減少13,891百万円及び未払法人税等の減少5,733百万円等により前連結会計年度末比12,335百万円減の540,663百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比7,881百万円増加し、676,416百万円となりました。自己資本は654,642百万円となり、自己資本比率は53.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

欧米を中心とした金融引き締めなどにより景気の減速感が強まり、当社グループの製品も一部その影響を受けていますが、第2四半期においても、ビニルアセテートを中心とする高付加価値品の需要が引き続き堅調に推移するものと想定します。

当第1四半期連結累計期間に訴訟関連損失を計上したこと、及び上記の事業環境を踏まえ、2023年12月期第2四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年6月30日）及び通期（2023年1月1日～2023年12月31日）の業績予想を次のとおり修正します。

## 2023年12月期 第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正

(2023年1月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 400,000	百万円 36,000	百万円 33,000	百万円 21,000	円 銭 62.74
今回修正予想 (B)	380,000	36,000	33,000	17,000	50.79
増減額 (B - A)	△20,000	-	-	△4,000	
増減率 (%)	△5.0	-	-	△19.0	
(参考) 前年実績 (2022年12月期第2四半期)	358,040	38,089	37,896	24,207	71.32

## 2023年12月期 通期連結業績予想数値の修正

(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 830,000	百万円 84,000	百万円 79,000	百万円 51,000	円 銭 152.38
今回修正予想 (B)	810,000	84,000	79,000	47,000	140.43
増減額 (B - A)	△20,000	-	-	△4,000	
増減率 (%)	△2.4	-	-	△7.8	
(参考) 前年実績 (2022年12月期)	756,376	87,139	84,060	54,307	161.13

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	123,724	108,669
受取手形、売掛金及び契約資産	157,016	157,114
有価証券	4,852	4,698
商品及び製品	145,851	153,740
仕掛品	19,078	21,878
原材料及び貯蔵品	60,104	60,832
その他	23,815	21,496
貸倒引当金	△510	△624
流動資産合計	533,933	527,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	94,745	106,597
機械装置及び運搬具（純額）	219,200	263,998
土地	23,264	23,363
建設仮勘定	137,424	81,473
その他（純額）	37,926	38,055
有形固定資産合計	512,562	513,487
無形固定資産		
のれん	56,058	55,430
顧客関係資産	30,432	29,823
その他	34,993	35,298
無形固定資産合計	121,484	120,552
投資その他の資産		
投資有価証券	23,194	24,356
長期貸付金	97	97
退職給付に係る資産	2,104	2,162
繰延税金資産	16,718	17,367
その他	11,458	11,266
貸倒引当金	△20	△17
投資その他の資産合計	53,553	55,233
固定資産合計	687,600	689,273
資産合計	1,221,533	1,217,079



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,717	52,455
短期借入金	34,480	34,480
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	30,434	29,071
未払費用	21,075	17,034
未払法人税等	11,370	5,636
賞与引当金	9,132	11,279
その他の引当金	111	118
その他	42,008	50,545
流動負債合計	221,330	220,622
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	179,491	166,962
繰延税金負債	17,279	17,457
役員退職慰労引当金	294	305
環境対策引当金	397	397
退職給付に係る負債	25,626	26,409
資産除去債務	5,303	5,428
その他	43,275	43,080
固定負債合計	331,668	320,040
負債合計	552,998	540,663
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,152	87,152
利益剰余金	399,910	400,371
自己株式	△25,735	△25,736
株主資本合計	550,282	550,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,769	6,522
繰延ヘッジ損益	611	213
為替換算調整勘定	90,555	97,551
退職給付に係る調整累計額	△468	△387
その他の包括利益累計額合計	96,467	103,899
新株予約権	341	341
非支配株主持分	21,443	21,432
純資産合計	668,534	676,416
負債純資産合計	1,221,533	1,217,079

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	167,558	184,965
売上原価	110,821	124,992
売上総利益	56,737	59,973
販売費及び一般管理費		
販売費	10,069	10,450
一般管理費	24,522	28,197
販売費及び一般管理費合計	34,592	38,648
営業利益	22,145	21,324
営業外収益		
受取利息	53	265
受取配当金	96	59
持分法による投資利益	61	47
その他	932	381
営業外収益合計	1,143	753
営業外費用		
支払利息	361	577
その他	632	1,111
営業外費用合計	993	1,688
経常利益	22,295	20,389
特別利益		
受取保険金	663	-
補助金収入	188	-
特別利益合計	851	-
特別損失		
訴訟関連損失	974	7,151
固定資産廃棄損	45	102
操業休止関連費用	2,805	-
固定資産圧縮損	169	-
特別損失合計	3,995	7,253
税金等調整前四半期純利益	19,151	13,135
法人税、住民税及び事業税	7,114	5,436
法人税等調整額	△1,142	△711
法人税等合計	5,972	4,724
四半期純利益	13,179	8,410
非支配株主に帰属する四半期純利益	478	257
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,701	8,152

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	13,179	8,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	753
繰延ヘッジ損益	556	△420
為替換算調整勘定	26,018	7,269
退職給付に係る調整額	66	81
その他の包括利益合計	26,778	7,684
四半期包括利益	39,957	16,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,788	15,584
非支配株主に係る四半期包括利益	1,169	510

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

米国子会社における火災事故に関する訴訟の解決

2018年5月に米国子会社で発生した火災事故に関して提起された民事訴訟について、近く訴え却下の申立てが認められる見込みの1名を除き、係争中であったすべての原告との間で2023年4月に和解が成立し、本件訴訟は実質的に解決しました。

これに伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、本件訴訟に関する訴訟関連損失として7,151百万円を特別損失に計上しています。

## (セグメント情報等)

## セグメント情報

## I. 前第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	82,420	12,176	37,074	13,612	13,592	158,876	8,681	167,558	—	167,558
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,733	3,181	952	813	360	9,041	2,000	11,041	△11,041	—
計	86,154	15,358	38,026	14,425	13,953	167,918	10,681	178,599	△11,041	167,558
セグメント利益	17,243	2,672	2,201	1,627	1,316	25,061	381	25,442	△3,297	22,145

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△3,297百万円には、内部取引消去665百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,963百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

## II. 当第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	93,737	12,382	44,252	12,720	13,408	176,502	8,463	184,965	—	184,965
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,077	3,398	1,126	812	401	9,816	2,884	12,700	△12,700	—
計	97,815	15,780	45,378	13,533	13,810	186,318	11,347	197,666	△12,700	184,965
セグメント利益	17,820	190	3,495	248	1,142	22,897	63	22,960	△1,635	21,324

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△1,635百万円には、内部取引消去1,830百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,466百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。